

令和4年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学演習 B	単位数	3 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(文系)		学年	第3 学年
使用教科書					
使用副教材等		ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編【数研出版】			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	大学受験数学に必要な基礎知識の習得と定着, また学んだ内容を活用できることを目指す。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	第1章 数と式 第2章 2次関数 第3章 図形と計量 第4章 データの分析 第5章 場合の数と確率 第6章 図形の性質 第7章 整数の性質	既習事項ではあるが, 忘れている部分もあることから基本内容の確認から始める。基本的に演習という授業の形であることから講義形式を避け, 生徒自身に主体的に問題に取り組ませられるよう指導していく。
2 学期	第8章 式と証明 第9章 複素数と方程式 第10章 図形と方程式 第11章 三角関数 第12章 指数関数・対数関数 第13章 微分法と積分法	既習事項ではあるが, 忘れている部分もあることから基本内容の確認から始める。基本的に演習という授業の形であることから講義形式を避け, 生徒自身に主体的に問題に取り組ませられるよう指導していく。
3 学期	まとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	6単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(理系)		学年	第3学年
使用教科書		数学Ⅲ【数研出版】			
使用副教材等		クリアー数学Ⅲ【数研出版】			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	複素数平面と2次曲線、極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 §1 2次曲線 §2 媒介変数表示と極座標 第3章 関数	xy平面状では図示することのできなかった複素数を新たな複素数平面を定義することで、数の概念を既習内容からさらに拡大し、大学での解析学へと繋げる。負の数と負の数の積が正の数になることを、ここで初めて学習することができる。 逆関数や合成関数を確実に学ばせることで、今後の微積分学への導入とするため、確実に理解させたい。
2 学 期	第5章 微分法 第6章 微分法の応用 §1 導関数の応用 §2 速度と近似式 第7章 積分法 §1 不定積分 §2 定積分 第8章 積分法の応用	11月中旬以降に始まる公募推薦入試までになんとか全ての範囲を学習させたい。 数学ⅡBとリンクするため、夏休みを利用して確実に復習させ、理解を深める必要がある。 回転体の体積を学ぶことで初めて錐体の体積は柱体の体積に1/3をかけることを学習することができる。本来は数学Ⅱで学習しておいて研究内容として学習しておいて欲しい部分である。
3 学 期	まとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学演習 B	単位数	3 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(文系)		学年	第3 学年
使用教科書					
使用副教材等		数研出版 キートレーニング数学演習 I+II+A+B 改訂版			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	1, 2 年の数学の内容の復習と応用 数学的な見方や考え方を他者に伝えられるようにする。 志望校合格
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	場合の数と確率 三角関数 数列 ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、入試に向けて力をつけさせる。 ・グループごとに問題をあて、プロジェクターに各々の答案を表示し、みんなの前に出て説明をさせることで、記述問題にも対応することのできる力を身につけさせる。また、予習の際にもグループ内での協働していくことを働きかける。
2 学期	図形の性質 整数の性質 式と証明 複素数と方程式 2 次関数 図形と計量 データの分析 図形と方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、入試に向けて力をつけさせる。 ・グループごとに問題をあて、プロジェクターに各々の答案を表示し、みんなの前に出て説明をさせることで、記述問題にも対応することのできる力を身につけさせる。また、予習の際にもグループ内での協働していくことを働きかける。
3 学期	まとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学演習 B	単位数	3 単位
学科・類型		普通科 I 類一般入試クラス		学年	第 3 学年
使用教科書		新編 数学 I , 数学 A(数研出版)			
使用副教材等		ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数学の問題を解くことを通して、解決の方針を立て、数学的論拠に基づいて思考できる力を身につける。 2. 数学のよさに気付き、順序立てて数学的な論拠に基づいて説明ができる力を身につける。 3. 看護学校、4 年制大学などの入試問題を解く力を身につける。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	数学 I 数と式 2次関数 数学 A 集合 場合の数	基礎基本の復習に重点をおき、受験勉強への足掛かりができるようにする。定理や公式、性質などについては、知識の暗記にとどまることなく、スムーズに活用が図れるように演習問題に取り組みさせる。また、他者と協働する学習を通して、順序立てて自分の考え方を説明できる力をつけさせる。授業を通して受験生として日々学習する習慣が定着するように、各授業ごとに課題を提示し、取り組ませる。
2 学期	数学 I 図形の計量 データの分析 数学 A 確率 図形の性質 整数の性質	基礎基本の復習に重点をおき、受験勉強への足掛かりができるようにする。定理や公式、性質などについては、知識の暗記にとどまることなく、スムーズに活用が図れるように演習問題に取り組みさせる。また、他者と協働する学習を通して、順序立てて自分の考え方を説明できる力をつけさせる。授業を通して受験生として日々学習する習慣が定着するように、毎時間課題を提示し、取り組ませる。
3 学期	まとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学基礎	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類(選択)		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等		数学基本ワーク 増進堂			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数学の問題を解くことで、物事を集中して考え、あらゆる情報を駆使して問題を解決しようとする姿勢を身につける。 2. 数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。 3. 就職試験、看護学校などの入試問題を解くことができる。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	数の計算 因数分解 約数と倍数 根号を含む式の計算 根号を含む式の計算 式の値 1次方程式 比例式 連立方程式 2次方程式	整式の演算を理解し、各問題を解くことができる。 乗法公式、因数分解を利用し、各問題を解くことができる。 2次方程式を解くことができる。 関数の定義を理解している。
2 学 期	1次不等式 2次不等式 文章問題 1次関数とグラフ 2次関数とグラフ 図形と角 合同な図形 相似な図形 円 図形の面積 三平方の定理 立体の表面積・体積	1次不等式を解くことができる。 関数の定義を理解している。 2次不等式と解くことができる。 文章を理解し、式化して解くことができる。 1次関数のグラフを書くことができる。 2次関数のグラフを書くことができる。 2次関数のグラフから最大値、最小値を求めることができる。 三角比を理解し、それらを利用して各問題を解くことができる。 平面図形について理解し解くことができる。
3 学 期	まとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学演習 C	単位数	2 単位
学科・類型		普通科 I 類(選択)		学年	第 3 学年
使用教科書					
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数学の問題を解くことを通して、解決の方針を立て、数学的論拠に基づいて思考できる力を身につける。 2. 数学のよさに気付き、順序立てて数学的な論拠に基づいて説明ができる力を身につける。 3. 看護学校、4 年制大学などの入試問題を解く力を身につける。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	数学 I 数と式 2次関数 数学 A 集合 場合の数	基礎基本の復習に重点をおき、受験勉強への足掛かりができるようにする。定理や公式、性質などについては、知識の暗記にとどまることなく、スムーズに活用が図れるように演習問題に取り組みさせる。また、他者と協働する学習を通して、順序立てて自分の考え方を説明できる力をつけさせる。授業を通して受験生として日々学習する習慣が定着するように、各授業ごとに課題を提示し、取り組ませる。
2 学期	数学 I 図形の計量 データの分析 数学 A 確率 図形の性質 整数の性質	基礎基本の復習に重点をおき、受験勉強への足掛かりができるようにする。定理や公式、性質などについては、知識の暗記にとどまることなく、スムーズに活用が図れるように演習問題に取り組みさせる。また、他者と協働する学習を通して、順序立てて自分の考え方を説明できる力をつけさせる。授業を通して受験生として日々学習する習慣が定着するように、毎時間課題を提示し、取り組ませる。
3 学期	まとめ	定期考査

令和4年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学基礎	単位数	2単位
学科・類型		生活デザイン科(選択)		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等		数学基本ワーク 増進堂			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数学の問題を解くことを通して、解決の方針を立て、数学的論拠に基づいて思考できる力を身につける。 2. 数学のよさに気付き、順序立てて数学的な論拠に基づいて説明ができる力を身につける。 3. 看護学校、4年制大学などの入試問題を解く力を身につける。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	数の計算 因数分解 約数と倍数 根号を含む式の計算 根号を含む式の計算 式の値 1次方程式 比例式 連立方程式 2次方程式	整式の演算を理解し、各問題を解くことができる。 乗法公式、因数分解を利用し、各問題を解くことができる。 2次方程式を解くことができる。 関数の定義を理解している。
2 学 期	1次不等式 2次不等式 文章問題 1次関数とグラフ 2次関数とグラフ 図形と角 合同な図形 相似な図形 円 図形の面積 三平方の定理 立体の表面積・体積	1次不等式を解くことができる。 関数の定義を理解している。 2次不等式と解くことができる。 文章を理解し、式化して解くことができる。 1次関数のグラフを書くことができる。 2次関数のグラフを書くことができる。 2次関数のグラフから最大値、最小値を求めることができる。 三角比を理解し、それらを利用して各問題を解くことができる。 平面図形について理解し解くことができる。
3 学 期	まとめ	定期考査

